

郡市政スタート

まちの主役は 常に、ひとです

郡和子市長の所信表明

仙台市議会第3回定例会のご報告 日本共産党仙台市議団

市民が共同して誕生させた郡和子新市長。9月11日開会した仙台市議会に初登壇しました。傍聴席は、かけつけた市民で満杯となりました。1ヵ月にわたった今議会。最終日、討論に立った日本共産党は「多くの分野で市長の思いが表明されたことを歓迎する」（花木則彰幹事長）と述べました。



8月22日 郡市長初登庁

「市民福祉の向上に、 全身全霊をもって 取り組む覚悟です」

（9月21日一般質問への答弁）



35人学級

郡市長「すべての学校、学年で実施するのに、どれくらいかかるのか試算したことは、一歩前進だと思っている。私自身、公約したものであり、検討する」「教員の確保、教室増加に対応する施設改修、それに伴う費用・財源の課題を精査し、実現に向けて検討する」（10月10日決算審査への答弁、9月19日代表質疑への答弁）

給付型奨学金

郡市長「他の自治体の状況も参考としながら、仙台市としてのより効果的な奨学金制度のあり方について、検討を深める」（9月19日代表質疑への答弁）

発達障害

郡市長「アーチル（発達相談支援センター）への相談件数が増加し、支援機能の強化が必要。学校からアーチルへの事前の電話連絡により、相談を早める改善を行った。支援体制を充実していく」（9月21日一般質問への答弁）

保育士

郡市長「保育の現場を支える保育士の処遇改善は重要。本市としてどのような取り組みが可能なのか、検討を進める」（9月19日代表質疑への答弁）

石炭火力発電所

郡市長「法に定める計画段階でのアセスは、事業計画を中止させる調整機能は有していないので、本市域への石炭火力発電所の立地を抑制していくため、前例にとらわれることなく、本市独自の方策を講じることが必要」（9月15日代表質疑への答弁）

憲法・平和

郡市長「現行憲法のもと、国民の安全安心を守るために軍事的手段に訴えることなく、平和的国家として歩みを進めてきたわが国の先人たちの努力を忘れてはならない」「軍事的緊張の前にあっても、外交努力をあきらめてはならない」（9月21日一般質問への答弁）

前向き提案で 市政を引っばる



来年度予算編成の作業が始まっています。日本共産党は、市民要求の実現をめざし、郡市長と手をたずさえてがんばります。今議会では、暮らしの要望を実現する道すじをわかりやすく示し、市政が前へ踏み出すよう、うながしました。

35人学級 ただちに

市長が35人学級を表明したことに、市民の期待が高まっています。共産党は、小中学校の全学年で35人以下学級にした場合、増えるクラスは166クラス、必要な教員数は194人だとし、それは1校あたりにすると1クラス程度、配置教員も1校1人程度であることを明らかにしました。

直面している、いじめ問題の対応のために、中学校2、3年生で先行実施することを提案。その教員増にかかる費用は7億4000万円です。

共産党「仙台市は、年々教育費を減らし続けてきた。2000年度576億円だったのが、2016年度には403億円まで減らしている。こんなに減らしてきたことを考えれば、7億円程度増やすことは、すぐにできる」

郡市長「わたし自身、公約したものであり、検討する」

復興住宅の 家賃すえおき

復興公営住宅の入居者がいま、頭をかかえているのは、入居6年目から10年目まで、家賃が段階的に値上げされようとしていることです。共産党は、国から安い家賃にするようにと多額の交付金 coming していることを示し、これを充てれば当面、家賃をすえおくことができると主張しました。

共産党「市が家賃をすえおくとすれば、どのくらいの額が必要となるか」

市当局「9億3000万円が必要になる」

共産党「災害公営住宅家賃低廉化事業という国の交付金 coming しているが、いくら来ているのか」

市当局「2016年度は19億5000万円。平成47年度まで来る。総額338億円になる」

共産党「家賃をすえおくのに9億円余。交付金を使えば、十分できる」

高すぎる 国保料は 引き下げられる

仙台市の国保会計は2016年度、30億円もの黒字となっています。この黒字分を、今年の保険料を決めるときに算入していれば、1人あたり年間1万3900円も保険料を引き下げることができました。

市はまた、昨年度当初、一般会計から国保会計に、繰り入れとして約34億円を計上していましたが、1円も繰り入れませんでした。

共産党「当初予定していた繰り入れ分を加えて保険料を計算していれば、どれだけの額が引き下げられたか」

市当局「1人あたり1万5000円」

共産党「剰余金を算入し、一般会計からの独自繰り入れも予定通り実施していれば、あわせて3万円も引き下げができたということだ」

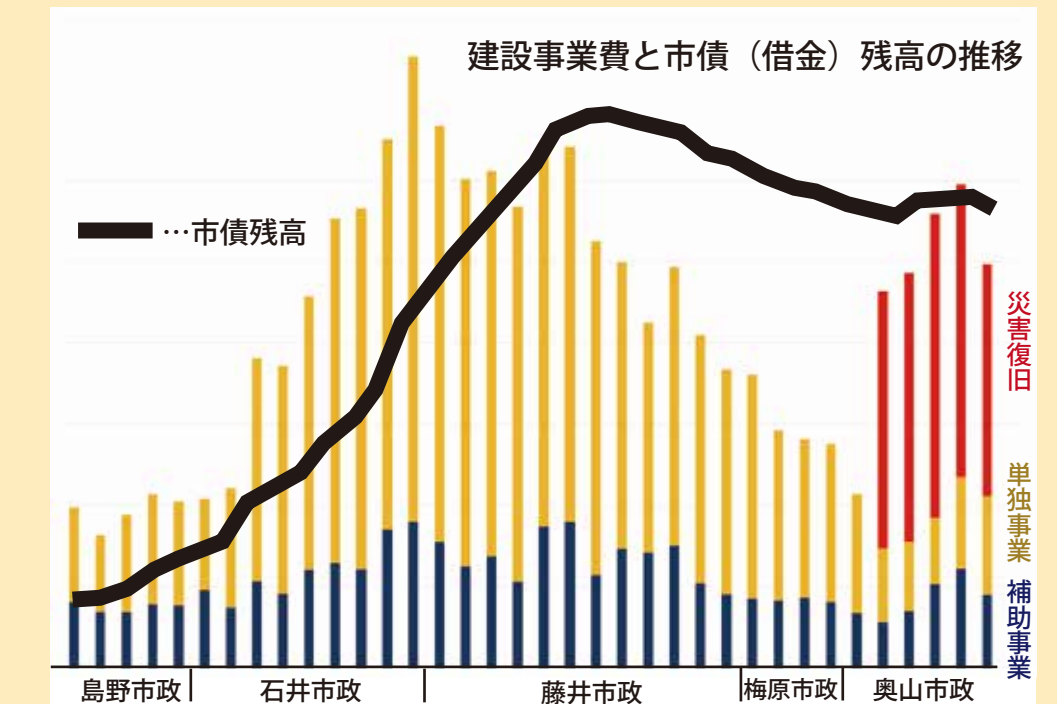
福祉に予算を傾けるのは、財政を健全にする

今議会で他会派議員は、かつて革新自治体が福祉を前進させたことについて「革新首長が出現した際、財政の大赤字を残して去って行った」などと述べ、福祉が財政をパンクさせたように言いました。しかし、こうした議論は、破たんしました。

共産党「仙台市の借金（市債残高）は、政令市の平均以上になっている。主な原因は？」

市当局「地下鉄東西線など、都市基盤整備を積極的に行ってきた結果だ」

共産党「借金の原因は、建設事業費だ。かつて島野市政（革新市政）から石井市政（自民党市政）に変わったところから、どんどん建設事業費が増え、石井市長がゼネコン汚職で逮捕された1993年度が1507億円とピークだった。その計画を引き継いだ藤井市政時代も建設事業費は、高水準だ。このゼネコン奉仕の財政運営こそ問題だった。借金は、福祉予算のせいではない」



公共交通の 格差なくす



敬老乗車証は、青葉区錦ヶ丘などを走るバス（民間事業者）には、使えません。これは、バス内にカードを読み取ることができ器を取り付ければ解決します。

共産党「読み取り器の取り付け費用を健康福祉局の予算として出せばよい。2つのバス会社（愛子観光、タケヤ交通）合わせても、取り付けのバスは14台だから、1500万円ほどですむ」

また、バス運賃は、遠距離地域ほど高くなるため、中心部から遠い地域の人たちは、敬老乗車証の年間利用上限額（12万円）をすぐに超えてしまいます。共産党は、利用上限の制度を撤廃するよう求めました。

学生に喜ばれている「学都仙台フリーパス」は、市バスと地下鉄しか使えず、民間交通事業者の路線や地域では使えません。

共産党「市内高校生の通学は遠距離になっている。仙台市の学生支援策として、運賃に見合う額を市が出す施策とすれば、交通局や民間事業者の収入アップにもなる」

共産党は、同じ仙台市民でありながら、不公平感や地域格差があるとし、解消を求めました。

認可保育所 もっと増やす



認可保育所に申し込んでも入れなかった児童数は、今年4月時点で1253人もおり、昨年より増えています。子育て世代は、6歳まで入ることができる認可保育所を切実に求めています。

ところが市は、公立保育所を廃止し、民営化しています。この10年間、13カ所を廃止・民営化。その定員数の総計は、1213人で、今年、認可保育所に入れなかった子どもの数に匹敵します。

共産党「公立保育所を維持しながら、民間事業者に新しく認可保育所を整備してもらえば、認可保育所に1000人以上も入れないという事態は、解消できていたはず」

認可保育所を増設していく上で、保育士不足の解消は、重要な課題です。

共産党「市が独自で保育士の処遇改善に乗り出すときだ。東京都は、月4万4000円の給与上乗せ、千葉市は月3万円の上乗せだ。横浜市、さいたま市、船橋市などは、保育士に家賃補助を行っている」



市民要求の実現へ ゆるがず進む党。

花木則彰議員の最終日討論から

「市民の声をしっかり受け止め、市民といっしょに市政を進めていく、市議会もこの方向をふまえ役割りを果たすことが求められています。今議会では、例えば、就学援助制度の入学準備金前倒し支給について、複数の会派が実施の立場から議論し、当局の努力をうながしました。市民の願っている方向だと思います」

地 下鉄の駅務員の過酷な現状

嵯峨サダ子「地下鉄の駅務員、駅務係員は、現在2人体制。業務量が増え、24時間勤務で過酷な労働条件にある。地獄のような勤務で、意識がなくなり救急車で搬送されたケースもある。こんな状態で、乗客の安全を守ることができるのか。2人体制というのは、もはや限界。勤務形態の見直し改善とあわせ、体制を拡充すべきだ」

入 学準備金は入学前に支給を

ふるくぼ和子「就学援助の入学準備金（新入学学用品費）は、多くの自治体が入学前に支給している。ところが仙台市は、入学後の支給で、保護者に負担を強いている。国は、就学前に支給できると通達を出した。予算が新たに増えるものではなく、支給の時期を変えるだけで、制度をもっと役に立つものにできる」

市 民利用施設をより快適に

すげの直子「コミュニティセンターの修繕要望は、昨年度251件あったが、修繕実績は171件だった。市民センターのエアコン設置の要望もたくさん寄せられている。しかし、予算は増えないので、先送りになる件数も年々増えて積みあがっていく。地域の方々に、何年も待たせる状況は改善していない。修繕費の予算をもっと増やすべきだ」

今議会での発言から



「24時間勤務。人間は、ゆとりをもった働き方をしなければ労働の喜びを感じない」

嵯峨サダ子 決算特別委員会

「新しい発想で、市民とともに解決策を探求する。そこがいま、大切だと」

花木則彰 本会議一般質問



「やろうと思えばすぐにできたんですから、ただちにやろうじゃありませんか」

ふるくぼ和子 決算特別委員会



「日常的に渋滞のひどい利府街道は、さらにひどくなると心配の声があがっています」

高見のり子 決算特別委員会



「財政も国も動かす。そういう情熱を、わたしはみなさんと共有したいんです」

すげの直子 決算特別委員会



「子どもにとってどうなのか、そのことを一番に考えなければなりません」

庄司あかり 決算特別委員会



地 域循環バスを走らせよう

花木則彰「中学校区ごとに、市が循環バスを走らせたりすれば、自家用車に頼らなくても暮らせる地域を実現できる。岐阜市では、約40地域で地域交通をつくる計画で、現在19地域でコミュニティバスを走らせ、おとな1回100円で運行させている。買い物するスーパー、銀行、郵便局、病院、学校、集会所など循環させている。仙台市は、公共交通を交通局や民間事業者まかせにしてきたことを反省すべきだ」

JR 貨物ターミナルの移転について

高見のり子「宮城県の広域防災拠点事業計画のもと、現在、宮城野原にあるJR貨物ターミナルが岩切地区に移転される。移転先の住民らは交通渋滞、騒音、振動、水害などを心配している。市は、県とJR貨物に対し、住民説明会を複数カ所で開催するよう働きかけるべきだ」

公 立保育所は欠かせない存在

庄司あかり「障害児の受け入れ、アレルギーや福祉的な支援が必要な子ども対応、地域の子育て支援など、公立保育所の役割は、以前に増して大きい。現在、多様な保育施設が整備されているなか、保育水準全体を維持向上させる上でも、公立保育所の存在は、欠かせない」

「共産党は、議席を有する公党です」

郡 和子市長（決算特別委員会）

公明党議員「公安調査庁は、日本共産党は、破壊活動防止法に基づく調査対象団体であると答弁している。市長の日本共産党に対する認識という部分で、破壊活動防止法に基づく対象団体は、いわゆる反社会的な思想を持った団体なのか」

郡市長「同党は、一定の政治信条と政策を国民に提示して活動をされているもので、国会あるいは地方議会に議席を

有し、各種法律で政党として位置付けられている公党であり、同党は反社会的な思想を持った団体にあたらない」

花木則彰議員「公安調査庁はこの64年間、暴力破壊活動を行う恐れのある団体として、日本共産党を一度も申請していない。決算にも関係のない問題を質問したのだとすれば、明らかに公党である日本共産党への誹謗（ひぼう）のためにする議論だ」